

令和6年度 自己評価・学校関係者結果報告書

令和 7年 3月 13日

学校法人東京吉田学園 久留米神明幼稚園

1、本園の教育目標

「健康で心楽しく明るい幼稚園」を建学の精神とし、「豊かな情操や自立心、社会性を育成する。」を教育の目標として、日々の保育に取り組む。

本園の教育方針

- 1、健康で安全な楽しい生活をさせる。
- 2、自由な遊びの中に責任を持たせ、子供なりに自立心を育てる。
- 3、社会交遊性をのばし、豊かな情操を養う。
- 4、自分の気持ちを言葉で表現し、伝え合う喜びを育てる。
- 5、豊かな文化、表現への芽生えを伸ばす。

2、本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画 具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取組状況
教育要領、教育課程、子供の実態等を基に考えて作成している。	A	毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子供の实態に即した内容にするように努めている。
定期的に各クラスの成果と課題を報告する。	A	各クラスで月や週の目標を定め、毎月毎に達成状況を報告し合うようにしている。
安全面への対応	A	教職員の安全対応能力向上のため、訓練や共通理解の確認を実施、安全装置や遊具の日常点検と補修工事の実施
保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。	B	保護者との懇談会や個人面談を実施。出された意見に対して、必要なものについては園の考えを示し、改善すべきものは改善するように取り組んでいる。

評価 A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価	理由
A	教職員が学校評価の主旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組んでいる様子が見られた。今後も客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、さらに充実し実践ができるように努力を積み重ねて欲しい。感染症予防対策を日常的に実施、子供一人ひとりに目を向けた対応や家族への配慮に創意工夫を重ね実践したことは評価に値する。

評価 A:充分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった

5、今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	安全管理	地震などの災害に備えて、危機意識の向上を図る。
2	地域との連携強化	地域に愛される園を目指して、地域との連携に一層努める。
3	環境	園庭や室内の環境について話し合い、遊びが充実するように幼児の発達に沿った環境づくりに努める。

6、学校関係者の評価

幼児の発達に沿った環境の中で子どもたちが楽しく安全に遊んでいる様子は大変好ましい、幼稚園の教育方針を大切にし、子供を中心に置いた園づくりを今後も安全に留意して保育にあたってほしい。また、園に関わる全ての方々が健康で楽しく過ごせる拠点となてほしい。

学校関係者評価委員 印

学校関係者評価委員 印

学校関係者評価委員 印

委員会実施日 令和 7 年 3 月 7 日